

---

◎町長行政報告

○議長（稲葉昭宏君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 齋藤文彦君 登壇）

○町長（齋藤文彦君） 平成28年松崎町議会第3回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

熱く日本中に感動と希望を振りまいたリオデジャネイロ・オリンピックが終わるとともに、夏の喧騒もまた過ぎ去りました。かつては夏の大量滞は常識でしたが、最近はその光景も見られず、活力の落ち込みを感じざるを得ません。改めて賑わいの大切さを感じ、その復活を肝に銘じたところでございます。

また、10月には「日本で最も美しい村」連合フェスティバルが当町を会場に開催されます。加盟自治体や協賛企業から約400人程が来町される予定となっていますので、町民こぞって歓迎し、松崎の良さを広く発信する場としたいと思っています。

現在松崎町では、「日本で最も美しい村」の考え方を取り入れながら、賑わいの創出に取り組んでいるところですが、これは一朝にして出来るものではありません。町民の理解を得て、官民一体となった体制が必要であると感じているところでございます。それには、議員各位のご理解、ご協力が不可欠でありますので、これからもご支援を賜りますようお願い申し上げます。

次に、6月以降の町政の動向について概要を3点ほど報告いたします。

1つ目は、旧岩科小学校跡地に予定されている、松崎幼稚園園舎についてであります。東日本大震災以後、津波浸水域にあった2園を含む4園を1園に統合することになり、議員の皆様にも様々なご協力をいただいております。計画から5年が経過いたしました。7月27日ようやく安全祈願式を行うことができました。松崎の香り漂う園舎は年度末には完成し、新年度からは園児たちの明るい声が岩科の里に響くこととなります。

2つ目は、旧中川小学校跡地に予定されている、下田警察署松崎分庁舎についてであります。分庁舎は、去る8月25日に起工式を終え、来年夏の完成を目指して工事が進められています。計画通り工事が進むと、来年の9月には防災機能を備えた庁舎で業務が開始される予定ということです。

3つ目は、依田邸（旧大沢温泉ホテル）についてであります。依田邸につきましては、昨年、NPO法人伊豆学研究会とNPO法人くらしまち研究機構が共同で取得し、維持管理に努めてきたところですが、ここに来て、今後の管理や使用方法について、所有権の移転も含めた町の積極的な関与を求めてきました。依田邸は町の重要な文化財の一つであり財産でもあることから、その取得も視野に入れながら条件交渉にあたっているところです。条件や取得後の計画などが決まりましたらまた、皆さまのご判断を仰ぎたいと思います。

本日は、「町営観光施設の入館状況について」ほか2件についてご報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。

○企画観光課長（山本 公君） それでは、企画観光課から2件の行政報告をさせていただきたいと思います。

まず、町営観光施設の入館状況につきまして、資料ナンバー1によりご説明を申し上げます。

はじめに1ページをお願いしたいと思います。1ページに伊豆まつぎ荘の状況が記載してございます。

右側に7月までの累計の数字がございまして、そちらの方でご説明をさせていただきたいと思っております。上段に宿泊利用人員の記載がございまして、本年度7月まで7218人ということで、前年に比ばまして1133人の増加となっております。入浴、休憩利用人員を加えた人数につきましては1万803人ということで、前年より937人の増となっております。

収益につきましては中ほどにございまして、9380万6000円でございまして、前年度より1066万3000円増加しております。下段になりますが、公債費、減価償却費を按分して加えた費用につきましては1億162万7000円でございまして、前年度より483万円増加しております。

利益につきましては、一番最下段でございまして、マイナスの782万1000円でございまして、前年度より583万3000円の改善ということでございまして、これまでの取り組み等につきましては下段に記載がございまして、またご覧いただきたいと思います。

続きまして、2ページをお願いしたいと思います。2ページ目に町営観光施設の状況がございまして、伊豆の長八美術館でございまして、781人前年度に比ばまして減の8930人でございまして、収支差額はマイナス241万2000円と円でございますが、121万7000円改善しております。

重要文化財岩科学校につきましては232人減の5762人。収支差額につきましては、マイナスの195万1000円で、61万6000円の悪化ということになります。

3 ページをお願いします。3 ページに明治商家中瀬邸、民芸館の記載がございます。中瀬邸につきましては470人減の4289人。収支差額につきましては148万4000円のマイナスでございますが、15万5000円改善しております。

民芸館でございます。利用人員につきましては826人減の2414人。収支差額マイナス231万1000円で、マイナスの4万円でございます。

最後に、4 ページをお願いしたいと思います。4 ページ、道の駅花の三聖苑でございます。道の駅花の三聖苑につきましては、8261人増の1万4768人でございます。収支差額につきましては、マイナス189万8000円でございますが、前年対比152万8000円の増でございます。

7月までの累計につきましては、伊豆まつぎ荘、伊豆の長八美術館、明治商家中瀬邸、道の駅花の三聖苑で収支が改善しております。特に伊豆まつぎ荘につきましては、経営改善計画に基づいて実施しております取り組みの成果がみられ、宿泊利用者、収益が好調に推移しているところでございます。

また道の駅花の三聖苑につきましては、平成27年度はかじかの湯の休館の影響がございまして、今年度につきましては、入館、入浴以外の観光施設で収支が悪化しております。特に花の三聖苑につきましては、かじかの湯の休館によりまして、入館入浴者が大幅に増えているものでございます。

10月には、「日本で最も美しい村」連合フェスティバルの開催並びに日本ジオパーク全国大会のジオツアーによる来町も予定されております。多くの皆さんに松崎町を知っていただきまして、今後の誘客に繋げてまいりたいと考えております。併せまして、観光協会並びに近隣市町、美しい伊豆創造センターと連携した取り組みによりまして、伊豆半島への観光誘客を図ってまいりたいと考えているところであります。

以上、町営観光施設の入館状況につきましてのご報告とさせていただきます。

引き続きまして、資料ナンバー2をお願いしたいと思います。賀茂地域の広域連携会議 専門部会 開催・検討状況につきまして、資料ナンバー2によりご報告をさせていただきたいと思っております。

下田市、賀茂郡の1市5町における連携強化、一体的な振興を図るための方針の決定や施策を進めることを目的に平成27年4月に県、市町で賀茂地域広域連携会議が設置されまして、これまで各種分野におきまして専門部会を設置し、協議検討をしてきております。配付している資料で印刷、字が少し薄くなっているものがございます。例えば、消費生活センターで

すとか、税の徴収事務の共同処理ですとか、災害時における人的・技術的支援体制の構築が薄くなっているわけでございますけれども、こちらにつきましては、協議が既に整い実施されているものでございます。

従いまして、黒い濃い字のものからちょっと説明をさせていただきたいと思っております。

2番として、教育委員会の共同設置がございますが、指導主事の共同設置の負担割合や賀茂地域教育振興方針に基づいて現在協議がされているところでございます。

4番の監査事務の共同化につきましては、7月7日の専門部会において「監査のあり方」を踏まえた、監査事務様式あるいはマニュアル等の共有化、課題対応、連携強化について協議をしているところでございます。

地籍調査、6番目になります。地籍調査につきましては、8月9日の専門部会において示されました基本協定書・協議会設置要綱等の素案について、8月25日において内容を確認し、次回の会議において改正したものが提案されるということになっております。

7番目、地域包括ケアシステムの構築・運用につきましては、昨年9月から各市町の連携について検討を進めておりまして、今年度から1市5町における賀茂地域包括ケアシステム連携推進協議会を設置し、連携による事業の推進を図っているところでございます。

なお、8番、9番ですが、技術的・専門知識を要する事務の共同処理と公共施設の長寿命化、共同活用・管理、水道事業につきましては、平成28年度に新たに加わった項目でございまして、技術的・専門知識を要する事務の共同処理では、最適な連携方策等の検討や技術職員不足という課題の解決方策について検討をしております。

公共施設の長寿命化等につきましては、7月の会議におきまして、取り組み方針や今後のスケジュール案について取りまとめを行っております。

裏のページをお願いします。最後に、官民・民の連携ということでございまして、昨年度から実施しております伊豆半島クリーン作戦、伊豆半島食の祭典を実施しておりますけれども、今年度は美しい伊豆創造センターが自主事業化して取り組んでおります。現在専門部会では、伊豆半島周遊ルートの開発並びに歴史的建造物の保存・活用における共同景観のまちづくりについて協議を進めているところでございます。

以上、賀茂地域広域連携会議 専門部会 開催・検討状況につきましてご説明をさせていただきました。

以上でございます。

○生活環境課長（高橋良延君） それでは、生活環境課から行政報告の3番目、公営企業会計平成28年7月末経営状況についてご報告をさせていただきます。

資料ナンバー3番をお願いいたします。はじめに、水道事業会計の方でございます。本年度7月末収益につきましては、営業収益、営業外収益を合わせまして4319万6000円、前年対比21万6000円、0.5パーセントの減となっております。理由といたしましては、7月末現在の有収水量につきまして28万3353m<sup>3</sup>で、一般用と営業用の減少により前年対比1710m<sup>3</sup>の減となりました。

また、予定収益を入れた事業収益の合計は4726万5000円、前年対比21万7000円、0.5パーセントの減となっております。

一方費用の方でございます。営業費用、営業外費用に予定費用を加えました事業費用合計は4264万円、前年対比143万3000円、3.3パーセントの減となっております。その結果、差引純利益につきましては462万5000円、前年対比121万6000円、35.7パーセントの増となりました。

続きまして、温泉事業会計でございます。はじめに収益の方ですが、営業収益、営業外収益を合わせまして1998万2000円、前年対比5万9000円の減、0.3パーセントの減となっております。自家用の休止が4件増加しまして、営業用の休止が1件あったこと等によりまして若干の減となりました。

予定収益を加えた事業収益の合計は2075万3000円、前年対比5万9000円減、0.3パーセントの増となっているところであります。

一方、費用の方でございます。営業費用、営業外費用に予定費用を加えました合計は1580万7000円、前年対比70万8000円、4.3パーセントの減となっております。その結果、差引純利益につきましては494万6000円、前年対比64万9000円、15.1パーセントの増となりました。

両会計とも利益増となっておりますが、水道事業においては、使用水量の減少傾向が続いているところでございます。

なお、夏の使用水量につきましては、今月の検針で状況がわかります。

また、温泉事業につきましては、配湯所のインバータ設備導入によりまして、動力費の軽減が大きく影響し、経費の削減に繋がっているところでございます。

以上、7月末公営企業会計の状況についてのご報告を終了いたします。

○議長（稲葉昭宏君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩します。

(午前 9時20分)

---